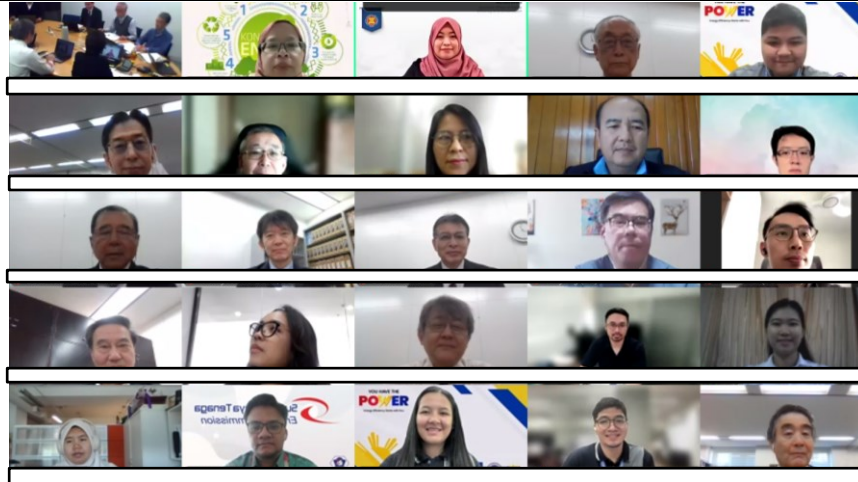


令和6年度 ASEAN向けAJEEP Scheme 4 オンラインワークショップを実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和6年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4 プログラムの第3弾として令和7年2月20日（木）ASEAN10カ国政府の省エネ政策・制度関係者を対象に、ASEAN地域のエネルギー管理士の共通標準研修プログラム他に関するオンラインワークショップを開催しました。



1. 経緯：R4年度より開始したAJEEP Scheme 4は、SAEMAS（持続的ASEANエネルギー管理士認証システム）を構築するために、技術面からASEANの共通標準研修プログラム(Common Standard Module: CSM) と先進的プログラム(Advanced Module: AM) を作成・支援するものです。R5年度はCSMの中身の確定と教材の作成やAMの構成案及び相互認証協定(Mutual Recognition Arrangement: MRA) がトライアル案を作成しましたが、R6年度も引き続きCSM教材の最終化及びAM教科書の作成し、10月の4カ国の現地訪問と12月のECAP35の受入研修にて詳細の説明と議論を行ってきました。
2. 目的：このWSは今年度最後のScheme 4の活動として、各国よりCSM教材内容の評価と、各国のエネルギー管理士研修プログラムとCSMを対比した補完モジュール要否の報告をしてもらい、CSMの内容と補完モジュールの確定を行うものです。また来年度のAMとCSMのトライアルの概要も紹介します。
3. WS出席者：SAEMAS WGメンバー及び研修関係者としてASEAN7カ国から25名、ACE(ASEAN Centre for Energy)から6名の合計31名が、またECCJからは14名が参加しました。
4. WS概要と結果：
 - (1) ASEAN7カ国からのエネルギー管理士研修システムの最新情報と自国システムとCSMの対比結果の報告：具体的で詳細な対比結果が明確になり、補完モジュールを見直しすべき事例が出て来た。
 - (2) CSMとAMに関して、ECAP35で出た各国からのコメントと要望に対する回答を行い了解された。
 - (3) EMP申請に向けたAAT(ASEAN AJEEP Trainer)からの回答が6カ国よりあり希望者は24名であった。残り4カ国からの回答を待って審査・小試験に進む予定。
 - (4) 詳細報告と共に活発な議論が交わされ、CSMの最終化と各国の認定エネルギー管理士の補完モジュールの要否の内容が明確になり、今年度のAJEEP Scheme 4の活動は計画通り実施され成果を得ることが出来ました。これらを踏まえて3月のPost & Summary Meetingを経て来年度のトライアルに取組む予定です。

* ECAP : Energy Conservation Workshop under AJEEP (ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)
ASEAN-日本エネルギー効率パートナーシップのもとに実施される受入研修

* EMP: Energy Management Professional ; ASEAN地域に新たに設定するエネルギー管理プロ資格